

上海 ショートステイ事情

帰省ラッシュで 人手不足顕著に

今年1月25日付けの中央人民广播电台記事によると、上海遠大心胸医院と上海遐福养老院は合計1000床のショートステイを春節期間限定（1月27日～2月11日）で募集したと伝えました。

病状や状態が安定し、かつ春節期間中に自宅療養を希望する者を対象に一時退院・退所させ、その間に利用希望者を募集し込みが殺到したとのこと。

上海市では在宅介護の主な担い手である家政婦【中国語でアーイー（阿姨）】の大半が地方から

の労働者のため、春節期間を利用して帰省する者も多く、人手不足に見舞われています。そのような中、「短期間だけでも見てもらえる所があるのは本当に助かる」と、利用したことがある方は口を揃えて言います。

2014年9月より上海市で指定申請が開始された社区内設置の入所・短期入所・通所等を複合させた地域密着型の「長者照护之家」と言われる施設は約73件あり、今年度は更に50件の新設を目標にしていると民政局関係者は言っています。住み慣れた場所からほど近い環境で一時的にお世話をしてくれ、料金も3食

春節期間に利用者が殺到

介助付きで1日1500円、月額3300円程度（1元＝18円）、年金の平均月額支給が3500元前後ということから考えると、受け入れられ易い価格設定です。

中国の養老院では入所体験はありますが、基本的にショートステイは実施していません。それに対して、期間を問わないショートステイ受入れをしている長者照护之家は、入所前の体験利用としても活用されており、そのまま入居となるケースも多いそうです。さらに通所も実施し



中国の高齢者マーケット

～介護・不動産事業の行方～



ゲストハウス総経理
稲田義人
著者プロフィール
ゲストハウス総経理。中国事業に携わって7年、介護職員養成学校の立ち上げや日本式介護研修の実施、また、日系介護企業を集めての上海シニア産業フェアの主催等、上海シニア事業全てを総指揮。

中国の養老院では入所体験はありま
ますが、基本的にショート
ステイは実施していません。
それに對して、期間
を問わないショートステ
イ受入れをしている長者
照护之家は、入所前の体
験利用としても活用され
ており、そのまま入居と
なるケースも多いそう
です。さらに通所も実施し
えられます。